

2022年3月期第2四半期 決算説明会資料

2021年11月24日

証券コード：5162

サマリー

- 2022年3月期第2四半期は、自動車市場の回復を受けて、ASA COLOR LEDやスイッチ用ラバーなどの自動車向けゴム製品の受注が好調に推移、また卓球ラケット用ラバーの受注が回復傾向であることから、増収増益となった。
- 今後について、半導体不足やグローバルでの部品調達不足から、自動車市場の伸びが鈍化することが予測されることや、原材料の高騰の影響を考慮し、通期予測は変更しない。
- 第2四半期の業績回復により中間配当は10円を予定。期末配当も普通配当10円を予定。

2022年3月期第2四半期決算説明資料 目次

I. 2022年3月期第2四半期決算実績

1. 連結決算実績（前年同期比）3
2. 連結設備投資実績4
3. 中期事業分野別実績5
4. 主要製品実績6~9
5. 単体損益実績10
6. 連結子会社の損益実績11
7. 連結貸借対照表の状況12

II. 2022年3月期通期見通し

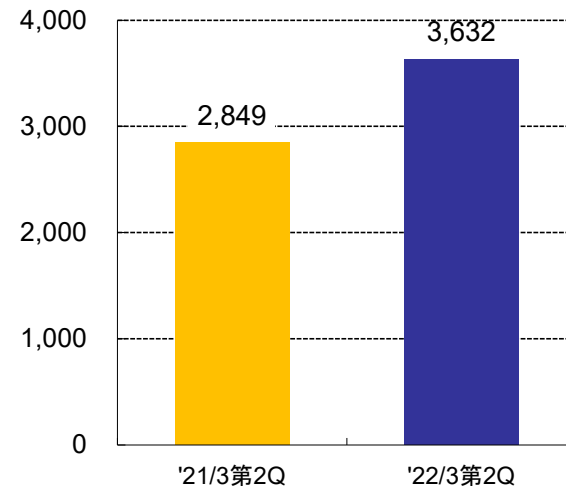
1. 経営方針・経営戦略13
2. 連結決算見通し（前年比）14
3. 連結下期見通し（上期下期比較）15
4. 中期事業分野別見通し16
5. 主要製品の通期売上見通し17
6. 重点4事業18
7. 活動実績19~21
8. 連結設備投資計画22
9. 配当計画23
10. サステナビリティビジョン203024

I-1. 連結第2四半期決算実績（前年同期比）

（単位：百万円、％）

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,849	100.0	3,632	100.0	27.5
売上総利益	468	16.4	865	23.8	84.9
営業損益	▲179	-	176	4.8	-
経常損益	▲128	-	178	4.9	-
四半期純利益	7	0.2	135	3.7	1,822.8

（単位：百万円） 連結売上高実績

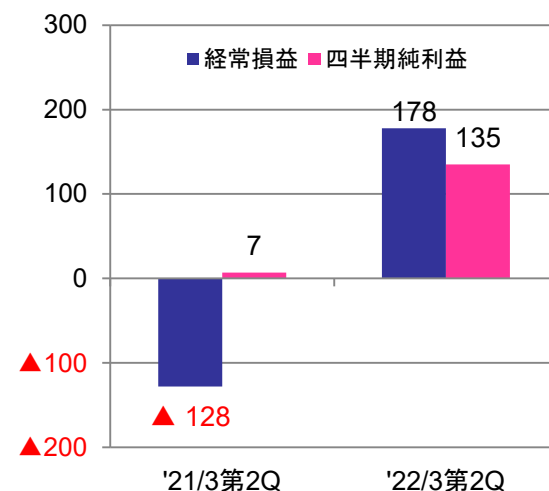


● 自動車向けゴム製品の受注が好調で大幅な増収増益。

（単位：百万円、％）

セグメント別	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
工業用ゴム事業	2,229	78.3	3,040	83.7	36.3
医療・衛生用ゴム事業	619	21.7	591	16.3	▲4.5
売上高	2,849	100.0	3,632	100.0	27.5

（単位：百万円） 連結損益実績



I-2. 連結設備投資実績

設備投資額 64百万円

減価償却費 224百万円

事業分野別設備投資内訳 (単位：百万円)

光学事業	12	透明レンズの生産設備など
医療・ライフサイエンス事業	30	回路製品の生産設備導入など
機能事業	20	自動車向けゴム製品生産設備導入など
その他	2	

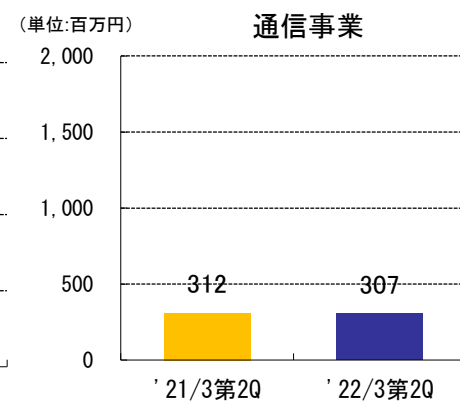
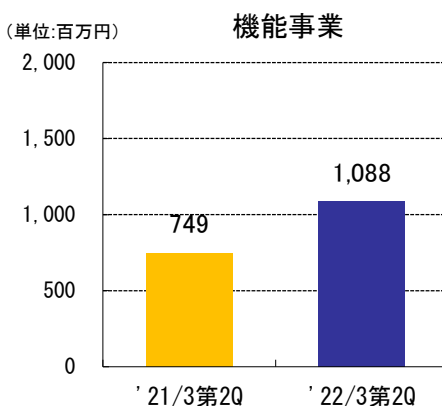
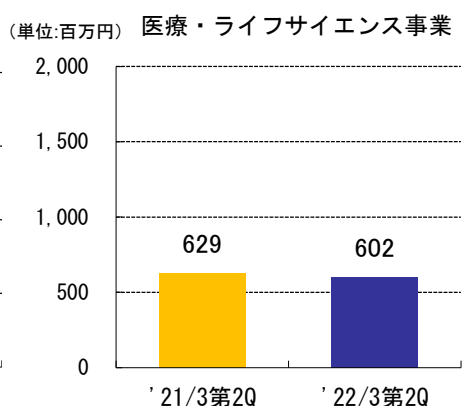
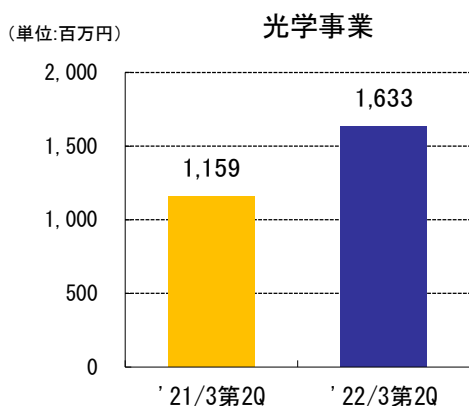
法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	48百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠製品	16百万円	機能事業

I-3. 中期事業分野別実績

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
光学事業	1,159	40.7	1,633	45.0	40.9
医療・ライフサイエンス事業	629	22.1	602	16.6	▲4.2
機能事業	749	26.3	1,088	30.0	45.3
通信事業	312	10.9	307	8.4	▲1.5
売上高合計	2,849	100.0	3,632	100.0	27.5



●ASA COLOR LEDの受注自動車市場の回復を受けて大幅に増加。

●一部製品の在庫調整の影響が長期化し売上高は微減。

●自動車スイッチ用ラバーの受注回復と卓球ラケット用ラバーの受注が堅調に推移。

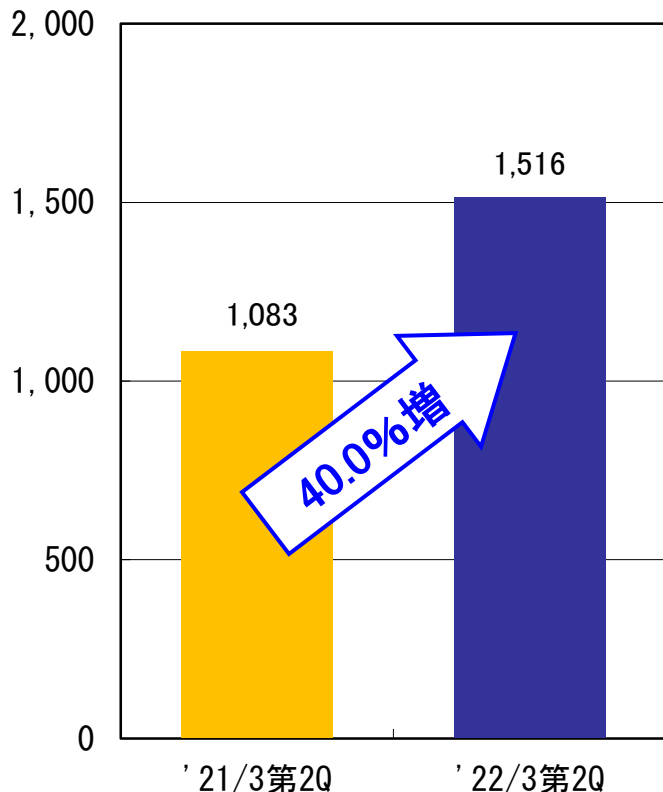
●RFIDタグ用ゴム製品の受注が北米市場での新型コロナの影響を受け減少傾向が続く。

I -4. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

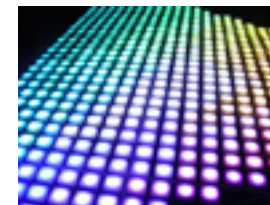
光学事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

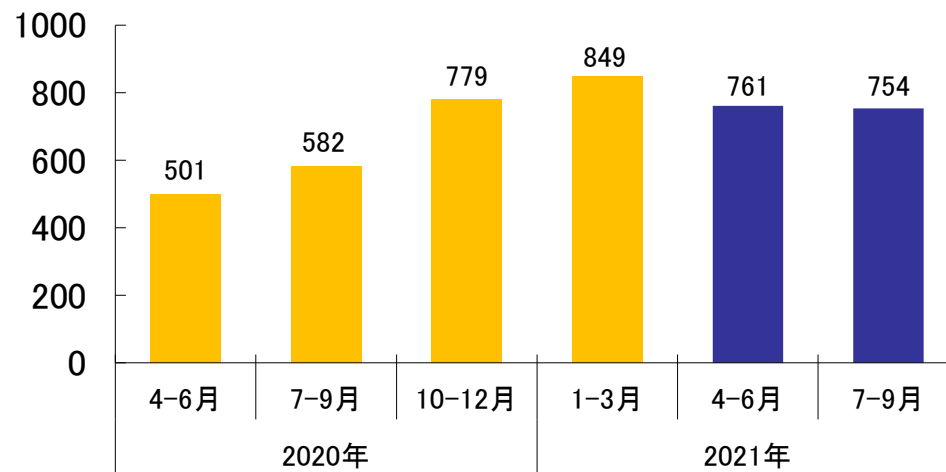


ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



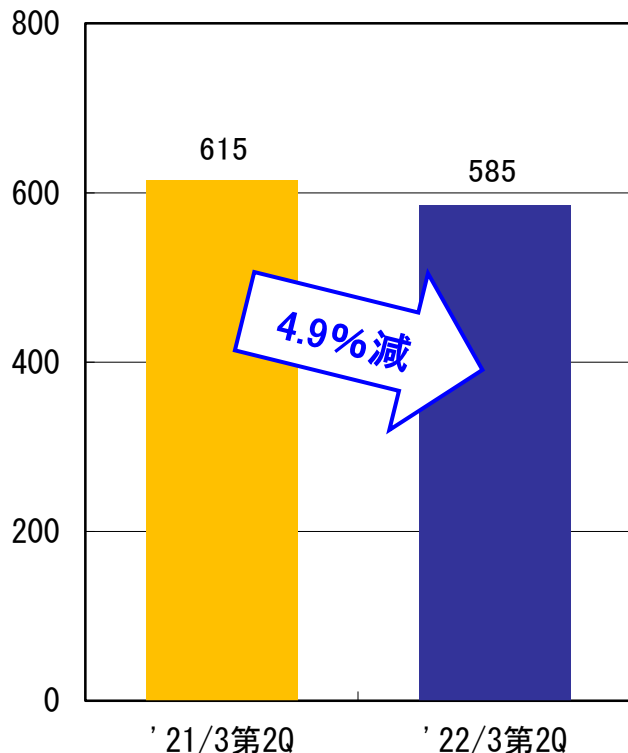
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前年同期に比べて昨年後半からの自動車市場の回復により、受注が増加。

I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



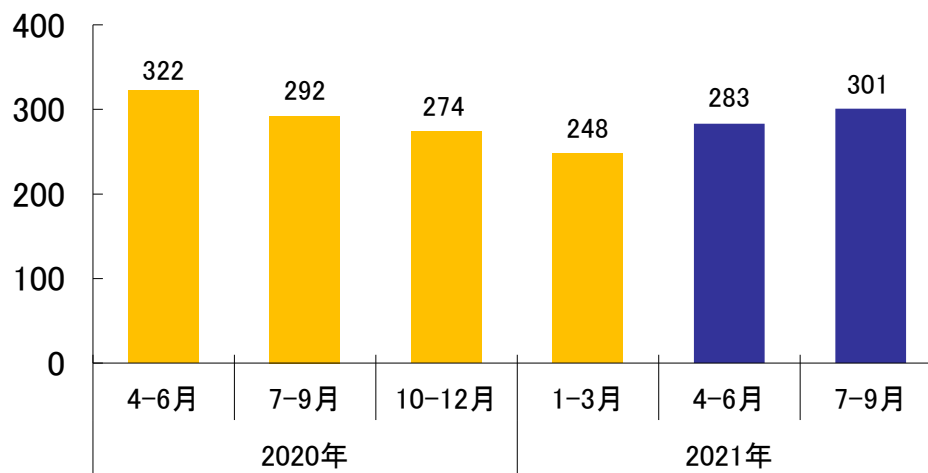
ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用
ガasket、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使
い捨てるディスポーザブル用ゴム製品。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



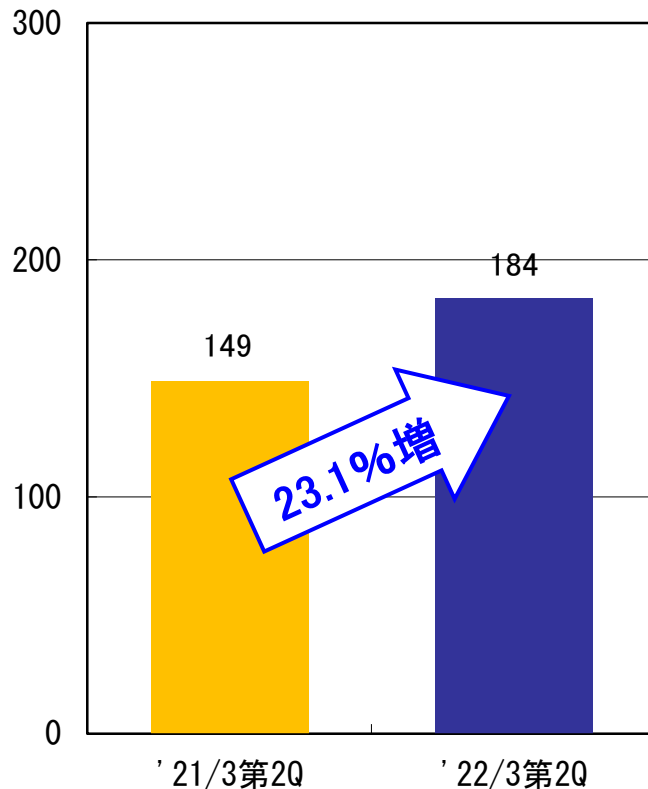
● 一部製品の在庫調整は徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大前までには回復していない。

I-4. 主要製品実績 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業

機能事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



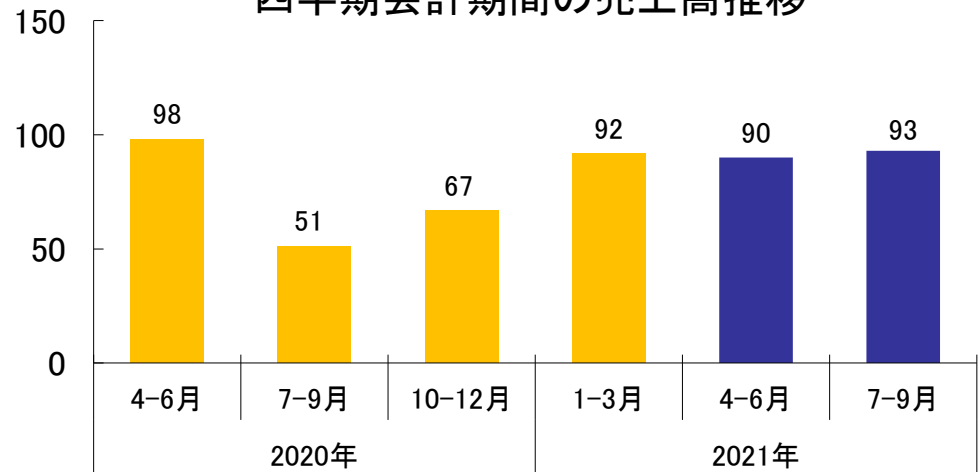
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

四半期会計期間の売上高推移



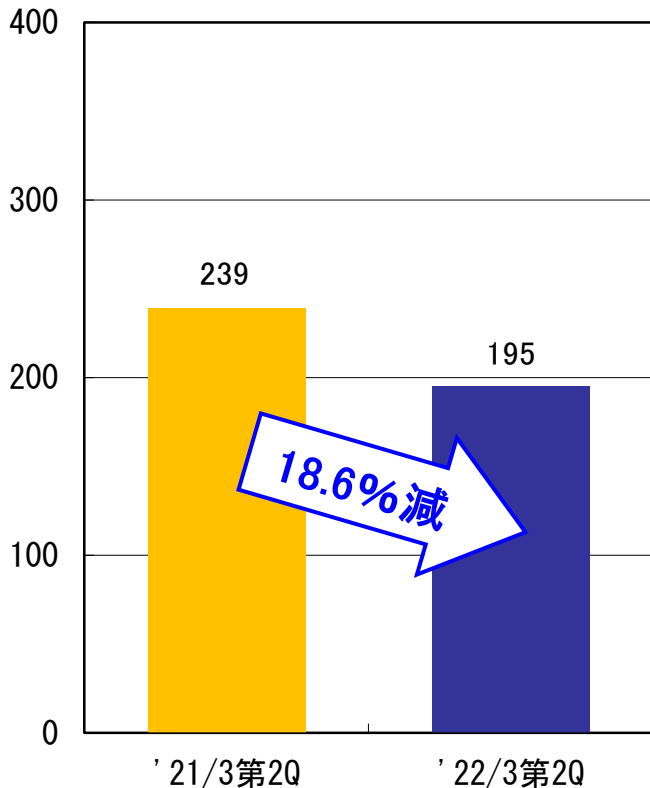
● 年初からの市場の回復傾向を受けて受注が安定して推移。

I-4. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

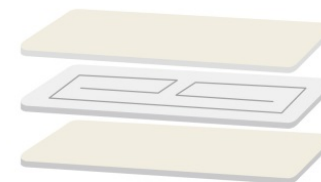
工業用ゴム事業

通信事業

(単位: 百万円) 連結売上高推移

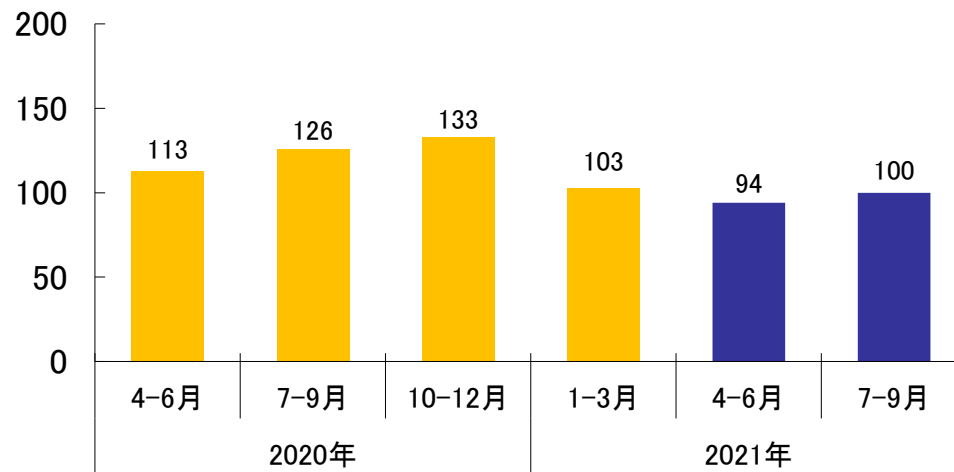


● 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



RFIDタグ用ゴム製品イメージ

(単位: 百万円) 四半期会計期間の売上高推移



● 最終ユーザーの北米市場が新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減により受注の減少傾向が続く。

I -5. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,659	100.0	3,275	100.0	23.2
売上総利益	420	15.8	730	22.3	73.5
営業損益	▲144	-	121	3.7	-
経常損益	▲72	-	132	4.0	-
四半期純利益	56	2.1	97	3.0	72.6

●自動車向けゴム製品の受注回復により増収増益。

I -6. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチックに関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	82,800	前年同期増減率	60,898	前年同期増減率
		3.8%		▲6.4%
経常損益	▲6,227	-	▲11,323	-
四半期純損益	▲6,228	-	▲11,323	-

円換算レート：1米ドル108.47円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠製品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発・設計・販売	
売上高	185,672	前年同期増減率	414,111	前年同期増減率	178,952	前年同期増減率
		27.6%		54.5%		69.0%
経常損益	678	▲95.5%	12,712	-	25,012	602.5%
四半期純損益	678	▲95.5%	12,712	-	23,768	602.7%

円換算レート：1香港ドル13.98円

円換算レート：1人民元16.77円

円換算レート：1人民元16.77円

I-7. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2021年 3月末残高	2021年 9月末残高	差	主な変動理由
流動資産	5,706	5,952	+245	現金及び預金 +106百万円 棚卸資産等 +142百万円
固定資産	4,634	4,499	▲134	機械装置及び運搬具 ▲112百万円
資産合計	10,341	10,451	+110	
流動負債	2,898	2,920	+22	支払手形及び買掛金 ▲45百万円 電子記録債務 +95百万円
固定負債	3,011	2,939	▲71	長期借入金 ▲82百万円
負債合計	5,910	5,860	▲49	
純資産合計	4,430	4,591	+160	利益剰余金 +89百万円 為替換算調整勘定 +59百万円
負債純資産合計	10,341	10,451	+110	

● 受注回復に伴い、現金及び預金と棚卸資産等が増加。

経営方針

みんなにうれしさをお届けしよう

経営戦略

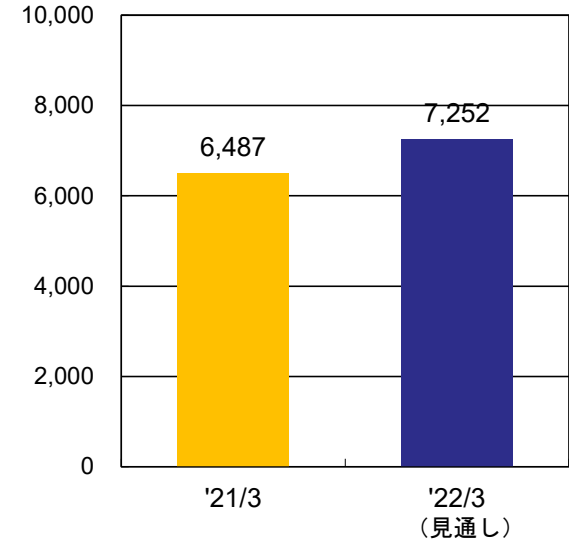
- 1. 事業の魅力を高めて出口をつかむ**
- 2. 気づきを高めて課題を解決する**
- 3. ESG経営を推進する**

II-2. 2022年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

	2021年3月期		2022年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	6,487	100.0	7,252	100.0	11.8
売上総利益	1,254	19.3	1,753	24.2	39.7
営業損益	▲92	-	321	4.4	-
経常利益	18	0.3	311	4.3	1,602.8
当期純利益	113	1.8	236	3.3	107.4

（単位：百万円） 連結売上高見通し

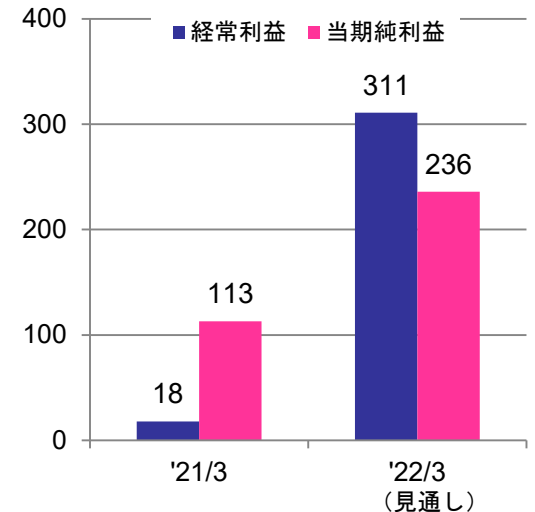


- 自動車用ゴム製品の受注は下期に鈍化するも売上げ増により増収増益を見込む。
- 卓球ラケット用ラバーの受注も回復見通し。

（単位：百万円、％）

セグメント別	2021年3月期		2022年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,336	82.3	6,090	84.0	14.1
医療・衛生用ゴム事業	1,151	17.7	1,162	16.0	0.9
売上高	6,487	100.0	7,252	100.0	11.8

（単位：百万円） 連結利益見通し



Ⅱ-3. 2022年3月期連結下期見通し

(単位:百万円、%)

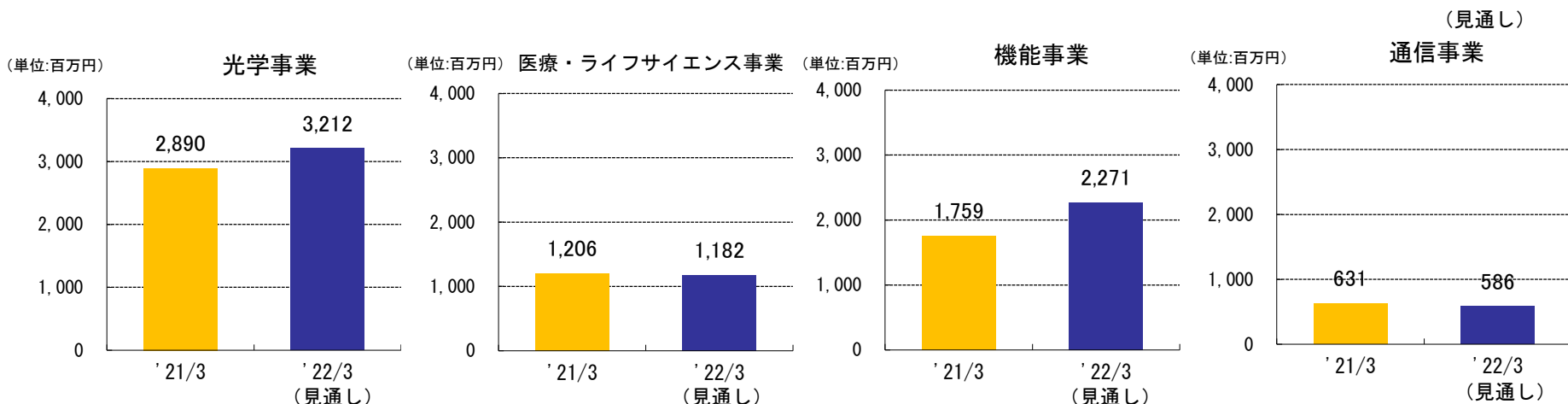
	上期	下期 8月6日時点予測		下期 11月12日時点予測			
	実績	見通し	構成比	見通し	構成比	8月6日 比較増減率	上期実績 比較増減率
売上高	3,632	3,674	100.0	3,619	100.0	▲1.5	▲0.3
売上総利益	865	922	25.1	887	24.5	▲3.7	2.5
営業利益	176	194	5.3	144	4.0	▲25.3	▲17.6
経常利益	178	188	5.1	132	3.7	▲29.3	▲25.4
純利益	135	146	4.0	100	2.8	▲31.2	▲26.0

- 半導体など材料供給不足による自動車市場の伸び率の低下を見込み、上期（第2四半期）比で売上高は微減を見込む。
- 原材料費の高騰は生産改善で対応するが、拡販に向けた販管費等の増加により利益額は上期（第2四半期）比で減少。

II-4. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
光学事業	2,890	44.6	3,212	44.3	11.1
医療・ライフサイエンス事業	1,206	18.6	1,182	16.3	▲2.0
機能事業	1,759	27.1	2,271	31.3	29.1
通信事業	631	9.7	586	8.1	▲7.1
売上高合計	6,487	100.0	7,252	100.0	11.8



●ASA COLOR LEDの受注の伸びは鈍化するが売上げ増の見通し。

●医療用ゴム製品の一部製品の在庫調整は緩やかに回復傾向。

●自動車スイッチ用ゴムの受注の伸びは鈍化するが、卓球ラケット用パターの受注が増加し売上げ増の見通し。

●RFIDタグ用ゴム製品の受注減が継続。

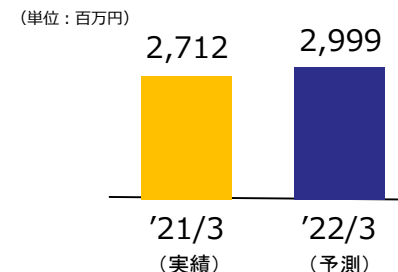
II-5. 主要製品の通期売上計画

ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・材料供給不足による自動車市場の伸び率が鈍化傾向だが、回復状況を精査していく。
- ・来年度以降の受注活動は計画通り進める。

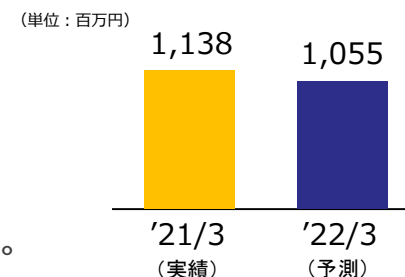


医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整は徐々に回復傾向にあるが、今期中に従来水準までは至らない。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の鎮静化による通常医療の需要回復時期を確認していく。

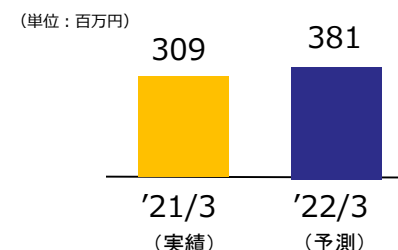


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・東京五輪開催による効果と競技の再開により徐々に受注は回復傾向。
- ・新製品開発を計画通り進める。

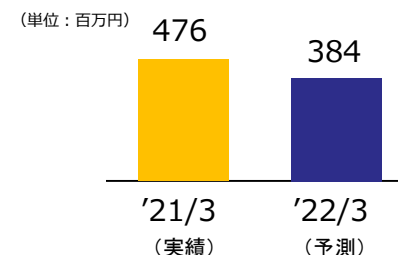


RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

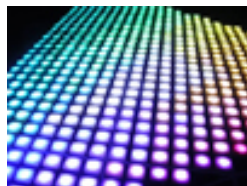
- ・北米市場の回復が見通せず、受注は低水準で推移する見通し。
- ・収益認識基準の変更により、前期比で売上高計上が約1億円減少する見込み。



Ⅱ-6. 重点4事業

光学事業

主な製品：ASA COLOR LED
ASA COLOR LENS
白色シリコンインキ



「感性、共感」をキーワードに、色と光を制御する技術と感性技術を磨き、自動車の内装照明市場から外装照明、またアンビエント照明に向けた技術開発と提案を進める。

機能事業

主な製品：自動車スイッチ用ゴム
卓球ラケット用ラバー
F-TEM (フレキシブルサーモエレクトリックモジュール)



ビークル分野、エネルギー分野、環境発電分野、スポーツ分野において制御技術と触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、将来のライフスタイルの実現への貢献に向けて、弾性無限で人に優しい感性価値を提供する。

医療・ライフサイエンス事業

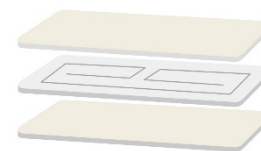
主な製品：プレフィルドシリンジ用ガスケット
採血用・薬液混注用ゴム栓
マイクロ流体デバイス



診断・治療分野、理化学機器分野、介護・予防分野に向けて制御技術と感性技術を磨き、世界の医療現場と患者のQOL (Quality of Life) 向上に貢献する。

通信事業

主な製品：RFIDタグ用ゴム製品
ビーコン



自動認識分野、通信機器分野、センシング分野において、伝える・伝わるセンシング技術、触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、ゴムだからこそ実現できる価値を提供する。

Ⅱ-7. 深紫外LEDシステムの研究開発

「ウイルス不活性化のための深紫外線LEDシステムの研究開発および実証実験」さいたま市令和2年度イノベーション技術創出支援補助金に採択される。

埼玉大学先端産業国際ラボラトリーとの共同開発

深紫外線（波長が280nm以下の光）は、殺菌・浄水、空気清浄をはじめ、ウイルスの不活性化にも利用が期待されており、深紫外線LEDの光を効率的に配光させる光学部材が求められている。



共同開発の成果

- 初期透過率および深紫外線光の連続照射試験(6,000時間照射)で、90%以上の透過率(評価波長:265nm)を有するシリコンレンズの開発に成功。
- 2件の関連技術に関する特許を出願。

製品開発の状況

- 市場へのPR活動を推進。（月刊OPTRONICSに掲載、紫外線フェア2021展示会に出展）

今後の製品開発

- 市場への製品提供を目指す。工法確立、工程構築、信頼性試験を行い、製品化する。

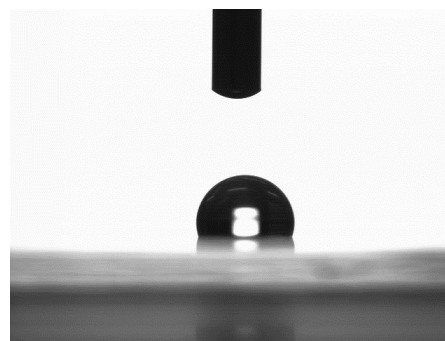
II-7. 超親水性シリコンゴムの開発

親水化技術により、ゴムの表面に水分を接触させた場合の接触角が 10° 以下にすることができる。

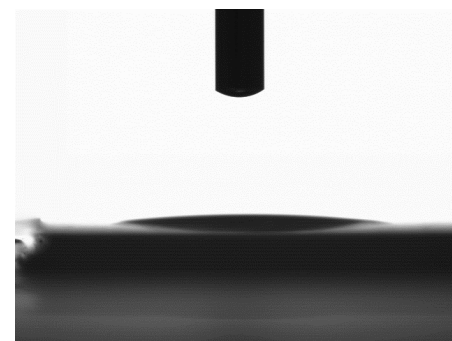
※通常のシリコンゴムの接触角は 100° 以上

1. 当社の親水化技術の特長

- ✓ 親水化効果を長期間保持できる。
- ✓ 耐滅菌性がある
- ✓ 簡便なものづくりが可能



親水化処理前



親水化処理後

2. 親水化処理方法

①配合方式

独自の配合技術で従来の配合技術に比べてすぐに親水化効果を得ることができる。

②表面処理方式

独自の配合技術による親水化の後、表面修飾剤を塗布することで親水化し、耐熱性に優れる。

現状：配合は量産化に向け、工程構築を実施中。表面処理は共有結合型を開発・エビデンスデータを取得中。

今後：ライフサイエンスや医療分野を中心に、シート・チューブ等の親水化製品開発を推進していく。

Ⅱ-7. 再生可能エネルギー向け技術開発

産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所から、令和3年度の福島県産総研連携再生可能エネルギー等研究開発補助事業補助金の研究テーマとして採択。

1. 風車用プラズマ気流制御電極

シリコンゴムの高い耐候性と柔軟性、耐電圧性を生かして、独自の分子接着・接合技術により金属電極と強固に接合させることで、プラズマ気流を発生させ、空気の流れを制御できる電極を開発。



2. 風車の落雷被害に対応するダイバータストリップ

独自の分子接着・接合技術により金属チップとシリコンゴムとを強固に接合させることで、高耐久・落下防止・施工性を兼ね備えた落雷対策部品を開発。

3. 風力発電用保護シート・カバー

シリコンゴムの高い耐候性・柔軟性を活かし、耐エロージョン性(耐侵食性・耐摩耗性)を付与した保護シート・カバーを開発。

II-8. 2022年3月期連結設備投資計画

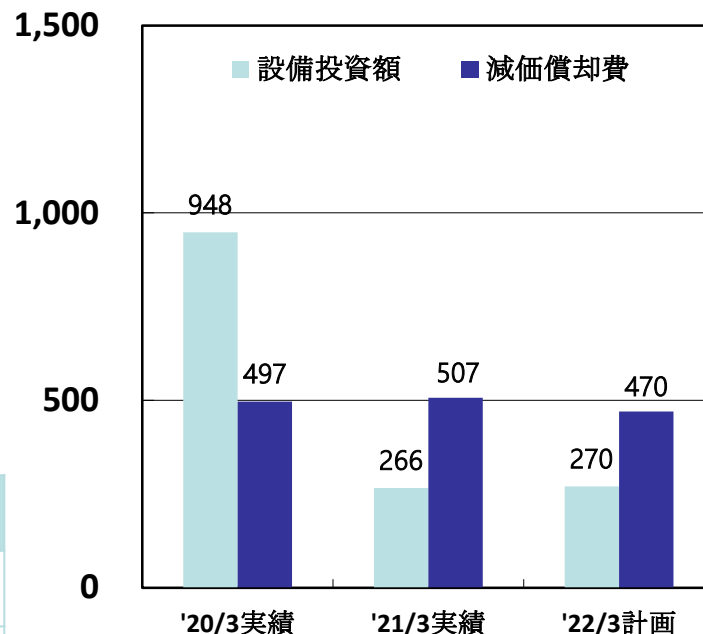
設備投資額 約270百万円

減価償却費 470百万円

(単位:百万円)

事業分野別設備投資内訳	
光学事業	90百万円
医療・ライフサイエンス事業	50百万円
機能事業	100百万円
通信事業	30百万円

法人・分野別設備投資内訳		
朝日ラバー	240百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠制品	30百万円	機能事業



- 光学事業はASA COLOR LEDの工法開発とシリコンレンズの生産設備を増強。
- 機能事業は自動車向けゴム製品の受注増に対応する生産設備を増強。

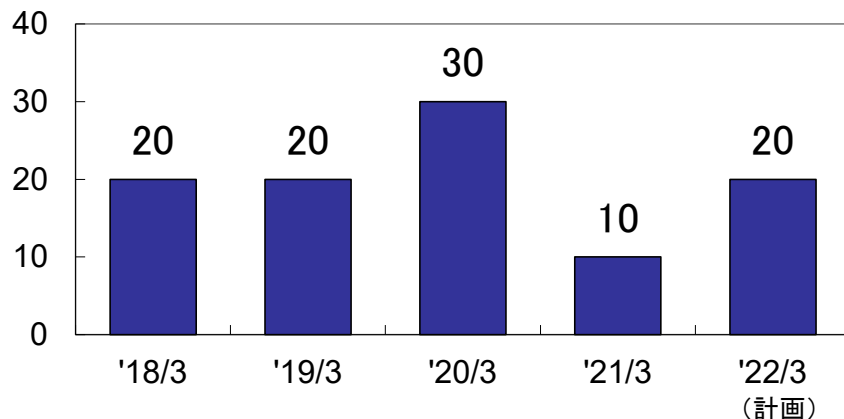
Ⅱ-9. 2022年3月期配当計画

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
中間配当	10円	—	10円 (予定)
期末配当	※20円	10円	10円 (計画)
年間	30円	10円	20円 (計画)

※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施

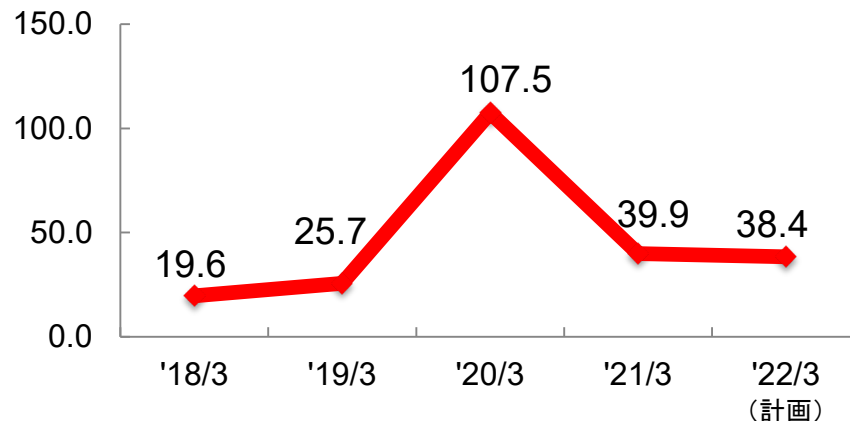
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 2021年3月期より業績が回復する見通しであることから、中間配当を復配し一株当たり10円、期末配当も一株当たり10円を計画。

II-10. サステナビリティビジョン2030

サステナビリティビジョン2030

ゴムが持つ無限の可能性で未来を創り

持続可能で明るく快適で豊かな社会の実現に貢献します



- ① 低炭素社会の実現 (CO₂排出削減)
- ② 循環型社会の形成 (リサイクル)
- ③ 環境負荷物質管理の推進
- ④ 環境に貢献する製品の研究開発



- ① 働きがいのある職場づくり
- ② ワークライフバランスの推進
- ③ 人権の尊重
- ④ 社会貢献活動の推進



- ① コーポレート・ガバナンスの充実
- ② コンプライアンスの徹底



光学事業

光と色の制御・感性技術を応用・発展させ、
省エネ/快適な暮らしに貢献

医療・ライフサイエンス事業

機能素材・制御・感性・表面改質・マイクロ加工技術を駆使し、
健康・福祉・介護に貢献

機能事業

制御・機能素材・装飾・五感・感性技術を複合・融合させた製品で
広く社会に貢献

通信事業

伝える・伝わるセンシング技術・五感・感性技術を駆使し、
情報通信機器の高機能化に貢献

- 社会の一員として持続可能な社会の実現に向けて、社会課題解決へのアプローチとして、ESGの取り組みを経営の基本的な枠組みとし、事業を通じて貢献します。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056